「ミラード・」・エリクソン博士 関西地区講演会」案内

(福音主義神学会・西部部会の春季研究会を兼ねています。)

今般、主の導きにより、福音主義とバプテストの世界で最も尊敬されているといわれる、世界的に著名な組織神学者のエリクソン博士をお迎えして講演会を開催することとなりました。この関西講演は、「福音主義神学会・西部部会春の研究会」をいつもより一ヶ月繰り上げていただけることとなり、福音主義神学会西部部会と関西聖書学院の共催のかたちで開催されます。エリクソン師は「牧会者のハートと学者の知性をあわせもつ神学者」と評され、その分かりやすい語り口は世界的名スピーカーとしての評価が高い方です。教職者のみでなく信徒の方々にも有益な講演会になると思われますので皆さんお誘いあわせの上お越しください。

● 日時:**3月12日**(水)10:00AM~4:30PM

● 会場:**関西聖書学院**(西宮市上ヶ原六番町2-42 .0798-53-2742)

● 講演:ミラード・J・エリクソン博士

● 共催:日本福音主義神学会西部部会(JETS)& 関西聖書学院(KBI)

● 対象:一般公開されています。(参加費は無料で、席上献金があります)。

講演題:なぜ、今、エリクソンの『キリスト教神学』なのか

いのちのことば社から、今春邦訳で刊行される予定のエリクソン著「キリスト教神学」は、今後日本の福音派において "基準的組織神学書" となることが予想されています。ある神学者は、「組織神学書は電話帳を読むようにではなく、讃美歌を歌うようにさせなさい。」とアドバイスしました。エリクソンの「キリスト教神学」はまさに "魂のこもった讃美歌を賛美している" かのように分かりやすい、しかも高度な内容です。米国では、福音派系キリスト教大学・神学校、そして教職者と信徒の間で教派を超えて基準的組織神学書と高く評価されています。今回、その出版を機会に来日された著者自身の口から、主著「キリスト教神学」における問題意識、そしてその今日的意義を語っていただきます。さらに聞くのみではなく、午後には、その価値を認め神学校の講義で用いている日本人教職者による「キリスト教神学」の本質をついたレスポンスと、さまざまの観点からの有意義なディスカッション、そして全体総括へとひとつの流れとなって展開していきます。この講演会は、単なる講演会ではなく、日本の福音派が「エリクソンの『キリスト教神学』をどのように受けとめ、どのように活用していくべきか」についての神学的指針を提供する場となることでしょう。ご期待ください、そしてあなたも参加してください。

● プログラム概要

- ◆ 受付(KBI)にて、昼食用弁当の注文を受け付けます。
- ▶ 10:00-10:30 開会礼拝
 - ◇ 司会:工藤師(関西聖書神学校) 奨励:大田師(関西聖書学院)
- 10:30-12:30 講演
 - ◆ 司会:津村師(大阪キリスト教短期大学)、通訳:ルーテル神学校、講演:エリクソン師、献金:(関西聖書学院)
- ▶ 12:30-1:30 昼食
 - ◆ 日本福音主義神学会員は、1:00-1:30 の間、JEC本部建物の会議室にて総会。
- ▶ 1:30- 2:30 レスポンス
 - ◆ 安黒師(関西聖書学院) 休憩10分、瀧浦師(神戸神学館)順不同
- 2:30-4:00 ディスカッション
 - ◆ 司会:牧田師(神戸改革派神学校) 通訳:市川師(左に同じ)
- 4:00-4:30 閉会礼拝
 - ◇ 司会・総括:牧田師

- ▶ 昼食の弁当を希望の方は電話で、前もって関西聖書学院事務室にご注文ください。
- > 今回の講演会共催を通して、「日本福音主義神学会」にも興味・関心をもっていた だけたら感謝です。

▶ 関西聖書学院への道順

阪急電車の場合

- : 阪急西宮北口駅下車 阪急バス(甲東園行き)で上ケ原六番町バス停下車すぐ
- : 阪急甲東園駅下車 阪急バス(西宮北口行き)で上ケ原六番町バス停下車すぐ

JRの場合

- : JR西宮駅下車 阪急バス(甲東園行き)で上ケ原六番町バス停下車すぐ
- : JR西宮駅下車 阪急バス(西宮北口行き)で西宮北口バス停下車乗り換え、阪 急バス(甲東園行き)で上ケ原六番町バス停下車すぐ
- : **車**の場合 国道 1 7 1 号線から、西宮市民体育館のところで曲がり、関西学院大学の方向に走る、上ケ原六番町にある関西学院大学に隣接した四階建ての建物

会場と昼食と駐車場の準備がありますので、集会出席希望の方は電話等で申し込んでください。(連絡先: .0798-53-2742、E-Mail:kbikbi@msh.biglobe.ne.jp [関西聖書学院事務室])

エペソ書 1:10 「キリストにあって一つに集められる」